

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわり		公表日			年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1	1	はい：直接支援を行うことがないので現時点では未使用だが、訪問先の環境設定の助言提案に際しては適切である。 いいえ：訪問先で使用の設定がない為。	必要な時には迅速、目つ、適切に準備する。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		適切である。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		全員が参画できる仕組みを作っている。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	保護者向けの評価表を今回から把握できるのでその内容を業務改善につなげたい。	今回の評価を得て必要に応じて業務改善を行う。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者からのお話を聞く、一緒に考える機会を設け保護者から伝えやすい関係作りを努めている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	第三者の評価を得る機会を検討する。	第三者委員会の導入を検討する。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		事業所内での研修や外部研修を受講するなど機会はおおくあり、希望は叶えられている。			
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		アセスメントや分析は担当スタッフ始めいろいろ意見が出しやすいように工夫している。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		職員が共通理解できるまで会議を重ねる、もう一度観察する等工夫している。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先の担当者と一緒に考える時間を十分にとるようにしている。	都度支援の方向性を訪問先と一緒に確認していく。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画作成後、職員に説明すると共に、具体的にどう支援するかは毎回振り返っている。			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		アセスメントは必ずしている。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		子どもに対する支援は直接支援の設定が難しい為、訪問支援後のカンファレンス時間を使って職員に伝えるようにしている。	ガイドラインを踏まえて支援を展開するためにも、訪問支援の更なる発展が必要と考え、その為に自事業所でできる事を取り組んでいきたい。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で共有されるように伝達する仕組みや、いつでも支援計画が確認できるようにしている。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		打ち合わせは必ず行っている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		打ち合わせや振り返りをしないということがないことが通常できている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先に必ず確認を取っている。	訪問支援開始時に事前に訪問先と情報を共有するような形を探りたい。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		記録は細かく事実を取ることが通常になっている。	訪問時の対象者の様子、振り返り内容の記録を残し、再度振り返る、事業所での療育にも活かすようにしている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		保護者や訪問先に定期的以外にも声をかけるなどして関係性を作るようにしている。				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	サービス担当者会議や関係機関の会議に参加していない。	今後そのような機会があれば参加に適した職員を派遣できる体制を整える。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	いつでも参加できる体制は取っている。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1	こちらの情報は共有する体制を取っているが相互理解や情報を全て共有するのは難しい。	いつでも対応できる準備は整えておく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		活発に研修を受け学ぶ機会はある。	今後も積極的に参加しやすい職場作りに努める。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2	機会があれば参加したい。	参加できる機会の情報を積極的に得に行くよう努める。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		日頃から保護者から聴く、伝えるは、意識せずに行えるようになってきた。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ペアレントトレーニングを開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		丁寧に説明をしているつもりだが、保護者に残る伝え方をさらに考えたい。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		説明を行っていることが伝わると支援しやすくなると感じる。更に理解してもらえるように努める。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		家族の意向は必ず確認するようにし、伝えやすい関係性を作っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		説明、同意を得るは必ずしている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		悩みだけでなく、普段から良いことも伝えてもらえる関係作りに努めている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		茶話会や夏休みなどに兄弟交流を実施している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談や申し入れは、関わる職員に伝わる仕組みの漏れがないように更に努めたい。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		月ごとに通信を発行している。 細かい情報はお便りやLINEを利用して伝えている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		留意しているが気持ちを引き締めて管理体制を整えたい。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		気付いたスタッフが保護者や子どもに必要な配慮を伝えるようにしている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先からの相談に乗り、訪問先で取り入れられることを一緒に考え、教材の提案をしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		実施日が数日以内にカンファレンスを必ずしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		実施後に面談を取る等している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		留意しているが更なる改善をしたいと思う。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		まずは信頼関係を築けるように最優先にしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		定期的に訓練はしているが保護者に伝わっていないので周知方法を考える。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			